

鶴ヶ島ってこんなまち💡

鶴ヶ島市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、都心や各方面への交通アクセスの良さやほどよい自然と市街地が調和したまちであることなどから、“住むまち、暮らすまち”として選ばれ、発展してきました。

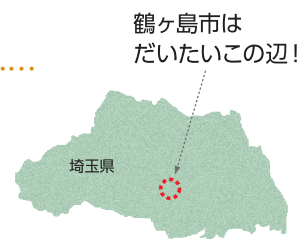
基礎データ

人口 69,836人

世帯数 33,874世帯

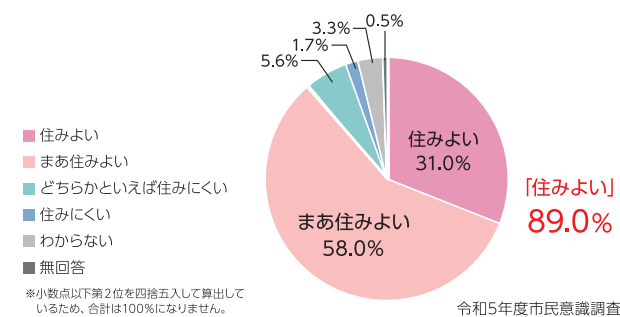
面積 17.65km²

(令和7年1月1日現在)



住みやすさ

市民の方へアンケート調査を行ったところ、
回答者の約9割が
「鶴ヶ島市は住みやすい」と感じています。



ワカパーク



ガーデンパーク

Pick Up

ふるさと納税

鶴ヶ島市では市の魅力向上や特産品のPR、地域の活性化を図るため、ふるさと納税制度を導入し、全国からいただいた寄附をさまざまな事業に活用させていただいています。

こどもたちのために まちの活性化に
地域福祉に 緑の保全に 文化・芸術に

1

通勤通学・お出かけに便利なまち

電車で1本

東京都内へのアクセスがとても便利。東武東上線で、若葉駅から約40分で池袋に到着。東京メトロ副都心線や有楽町線への乗り入れにより、新宿・渋谷・横浜方面、銀座・豊洲方面にも乗り換えなしで行くことができます。



車でのアクセスも良好

関越道と圏央道を結ぶ鶴ヶ島ジャンクションがあり、高速に乗って多方面に容易にアクセスができます。圏央鶴ヶ島インターチェンジの立体化とアクセス道路の全線開通でより一層利用しやすくなりました。

2

子育てを応援するまち

11年連続、保育園の待機児童ゼロ（各年4月1日現在、国定義による）。全小学校区に学童保育室を整備。病児保育室の利用料無料。仕事と子育てのどちらも大切にできる環境を整備しています。



(令和6年4月1日現在)

3

災害のリスクが低いまち

市内には、山や大きな川がなく、自然災害で被害を受けるリスクが低いまちといえます。住む場所・家を建てるには◎



ゼロカーボンシティ宣言

鶴ヶ島市は令和5年3月、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、市民・事業者・市が一体となって地球温暖化対策に取り組んでいます。



詳細はこちら



つるがしま

安心のまち

しあわせ共感



《概要版》

第6次鶴ヶ島市総合計画

後期基本計画

誰もがお互いを認めあい、ともにしあわせを感じられるまち。

誰もが安心に包まれ、ゆたかに生きていくことができるまち。

そんな“しあわせ共感 安心のまち つるがしま”の実現に向けたまちづくりを進めています。

第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画《概要版》 令和7年3月

発行・編集：鶴ヶ島市 総合政策部 政策推進課

〒350-2292 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16番地1 TEL:049-271-1111 (代表)

鶴ヶ島に関わる**すべての人**が**まちづくりの主人公**です。

市民の皆さんをはじめ、企業、大学、関係団体などと**連携**し、ともに**考え**、**行動する**ことによって、地域や世代を超えたさまざまな人びととの**交流**を促し、まちの魅力や好循環を生み出す**未来につながる**まちづくりを進めます。

市内外の多くの人から選ばれ、
「鶴ヶ島に**住んでよかった**」、「これからも**住み続けたい**」と実感できる
魅力ある地域社会の実現を目指します。



3つの重点戦略 ～特に力を入れる3つの取組～

重点戦略1 こどもにやさしいまちづくり

未来を担うこどもたちのためには、子育てがしやすく、こども自身も楽しめる環境が何よりも大切です。子育て世帯を中心とした若い世代に選ばれ、住み続けてもらうことはもちろん、こどもたちが一度市外へ出たとしても「将来、自分が子育てするときには、また鶴ヶ島に帰ってきたい」と思えるまちをつくります。



- 妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実
- 新しい時代を生きるこどもたちへの教育の充実
- 安心して子育てができる環境の整備



- 多様な主体による健康づくりの推進
- 外出したくなる環境の整備
- 社会参加の促進

重点戦略2 いつまでも健康でいられるまちづくり

心身の健康は、何ものにも代えがたい大切なものです。住む人が健康でいることで、まちそのものが健康になります。人生100年時代といわれる中、いくつになっても元気で、生涯にわたり健康で暮らせるまちをつくります。

重点戦略3 多様な働き方が実現できるまちづくり

“しごと”は、生活の基盤を築き、社会とつながり、より良い暮らしを実現するために欠かすことができないものです。生活が多様化している中、求められる働き方もさまざまですが、誰もが自分に合った働き方を実現できるまちをつくります。



- 圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺地域の整備・活用
- 職住近接を中心とした時間と心のゆとりの創出
- 多様な担い手の活躍の促進

7つのまちづくりの方向性 ～分野別の取組～

“しあわせ共感 安心のまち つるがしま”の実現に向け、7つの政策分野ごとにまちづくりを進めます。

政策1 安心して暮らせるまち（福祉）

政策2 豊かな人が育つまち（教育・文化）

政策3 いきいきと暮らせるまち（保健）

政策4 活力にあふれるまち（市民生活）

政策5 魅力とにぎわいのあるまち（産業・環境）

政策6 快適で住みよいまち（都市整備）

政策7 経営的視点に立った市政運営（市政運営）